

平成29年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	道路事業 (直轄・改築等)			担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始年度	昭和27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	国道・防災課 等		課長 村山 一弥 等		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路法第12条、道路法第50条 等			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	国土強靱化施策、一億総活躍推進			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・道路の交通安全の確保とその円滑化、生活環境の改善を図り、もって、国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・直轄国道 (一般国道のうち、政令で指定する区間) 等の新設・改築等を実施 ・主な事業として、高規格幹線道路、地域高規格道路、バイパス等の整備等を実施することで、国民の命と暮らしを守る代替性の確保や地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保、また、我が国の成長力を確保する物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備を実施 ・活動実績として、平成28年度の新規開通延長は94kmとなっており、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与 								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位: 百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	25,603	36,366	150,919	-			
		前年度から繰越し	368,713	261,618	257,764	386,297	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 261,624	▲ 257,764	▲ 386,297	-			
		予備費等	▲ 257	▲ 1,081	126	-			
		計	994,975	874,830	832,320	1,171,606	915,949		
	執行額	992,176	874,163	831,696					
	執行率 (%)	100%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	112%	100%	87%						
平成29・30年度予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	道路環境改善事業費	99,666	104,515	「新しい日本のための優先課題推進枠」428,224の内数					
	道路交通安全対策事業費	27,868	31,351						
	地域連携道路事業費	482,964	568,091						
	道路交通円滑化事業費	174,811	211,992						
	その他	0	0						
	計	785,309	915,949						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	平成32年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度 (都市間の最短道路距離を最短所要時間で除した) 60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保率	成果実績	%	51	53	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	55	
		達成度	%	93	96	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ (平成29年4月)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム) 欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

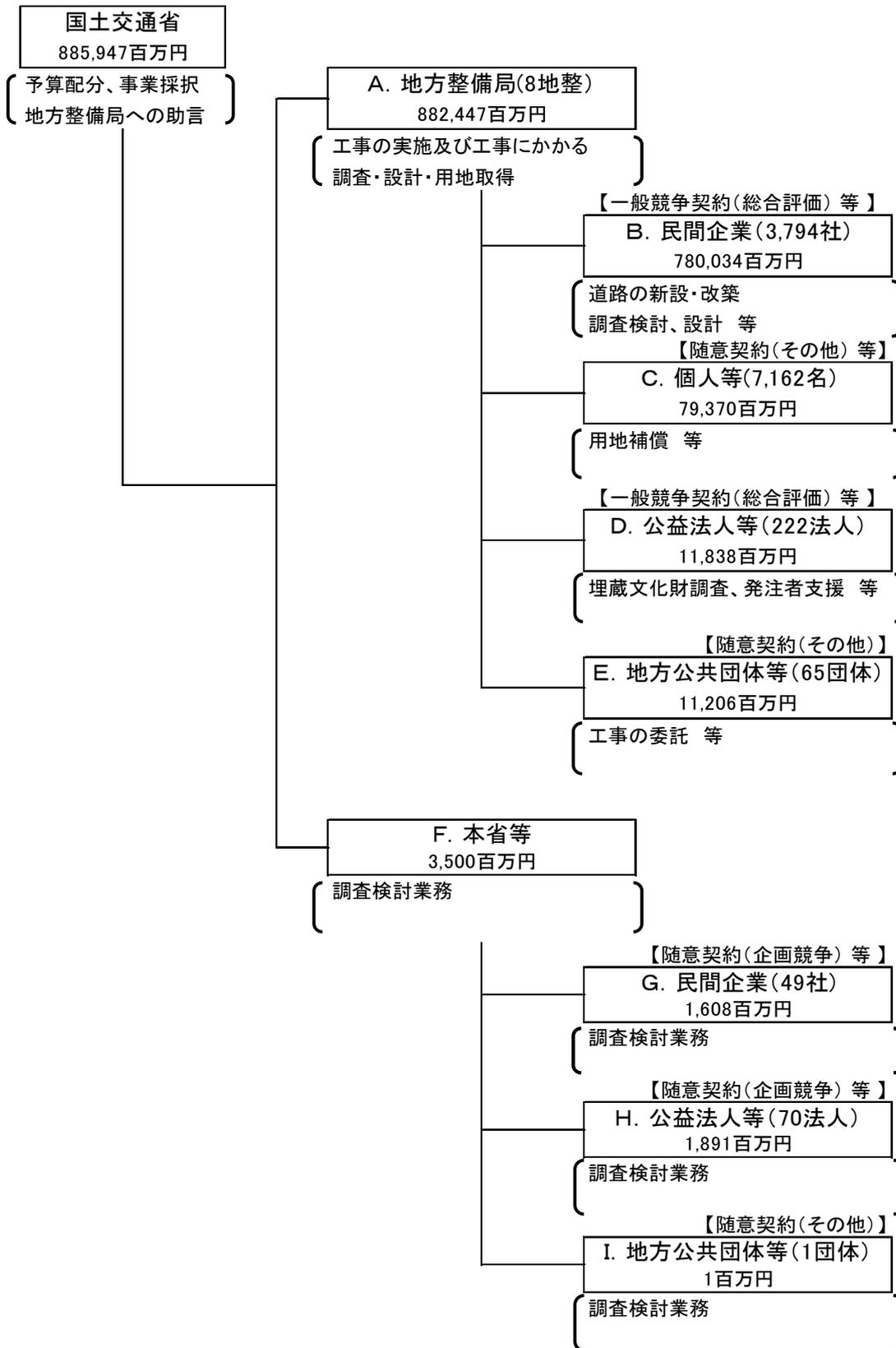
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	活動実績	km						
	新規開通延長	当初見込み	km	296	210	119	153	134
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たり コスト	-					-	-
	-		計算式	-	-	-	-	-

政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラム との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
		施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する						
	測定 指標		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡 速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除した もの)60km/hが確保されている割合) (平成28年度の実績については集計中)		-					32
		実績値	%	51	53	-	-	-	-
	目標値	%	-	-	-	-	-	55	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	・高規格幹線道路、地域高規格道路、バイパス等の直轄国道の新設・改築等を実施することで、わが国の成長力を確保する物流ネットワークの確保や、地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保が可能となり、国際競争力、広域・地域間連携等の確保・強化に寄与。 ・平成28年度は、新たに94kmが開通し、それに伴い、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与。								
	改革 項目	分野:	-	-					
	(第一 KPI)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
成果実績		-	-		-			-	-
目標値		-	-	-	-	-	-		
(第二 KPI)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
	成果実績			-			-	-	-
	目標値		-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
必要 投入 の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与する重要な事業であり国が実施することが必要。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民経済の健全な発展と生活環境の向上に寄与する重要な事業。
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等により選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	競争性のない随意契約となった案件は、工事の委託や土地代金、借地料等であり、その契約の相手方は1者に限定されるものである。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	負担関係は法令に基づいており、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業評価時に、事業の効率性及び透明性を評価し、第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて地方整備局等へ適切に配分している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係機関や地元との調整に時間を要した事などによる。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業再評価でコスト削減の取組について第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業再評価でコスト削減の取組について第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は着実に向上。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設は、事業の目的にあった機能を発揮している。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	平成28年度は新規採択時評価(8件)、再評価(173件)及び事後評価(23件)の事業評価を実施し、第三者委員会等の意見を聴取し、事業に反映させることで、公共事業の効率性及び有効性の向上を図っている。					
	改善の方向性	引き続き、事業評価において、コスト削減など事業内容の見直し等の検討を行うとともに、地域が進めるプロジェクト等と連携のとれた道路整備を計画的に進め、より大きなストック効果を早期に発現させるよう努める。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
一部の改善	事業内容	引き続きコスト削減など効率的・効果的な執行を図り、事業効果の早期発現に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執行等改善		新規採択時評価、再評価、事後評価において、引き続き評価内容に対して、第三者委員会等の意見を聴取するとともに、評価結果を公表する。事業評価にあたっては、コスト削減など事業内容の見直し等の検討を行うこととし、事業効果の早期実現を図る。					
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備事業特別会計の廃止による予算計上の変更に伴い、平成26年度以降の予算については、北海道、沖縄の事業を含まない。 ・支出先10者リストの中には、平成23年度～平成28年度に入札等を行ったものが含まれる。 ・道路事業(直轄・改築等)は、道路法第12条国道の新設・改築のうち、直轄事業を1事業単位として、レビューシートを作成している。 ・個別事業については、事業の効率性及び透明性を評価する事業評価を実施しているところ。 ・レビューシートの作成にあたっては、事業概要をより詳しく記載するなど、国民へのわかりやすさに配慮。 <p>【事業仕分け第3弾】 B-8 社会資本整備事業特別会計 道路整備勘定 (事業名)(1)道路整備事業 (WGの評価結果) 事業内容を見直し、予算要求を10～20%程度圧縮(とりまとめ内容) B/Cが1以上と判定されたものは、全て着工されているという実態を調査し、1未満のものを含めてB/C判定のプロセスを全て透明化する。 当初見込みの事業費が着工後膨張した全てのケースについてその原因を公表する。 B/Cにおけるコストというのはリスクを含めたものにして、客観的かつ適正なものになるよう早急に見直して頂きたい。予算と乖離がなくなるようチェック体制など具体的方策を講じ、その結論を本年度中に公表していただきたい。膨張したケースについては、一旦立ち止まってその原因とコストを更に下げられないかという歯止めの仕組みも合わせて本年度中に作っていただきたい。 予算要求を更に10～20%圧縮して可能な限り来年度の予算編成過程に反映していただきたい。</p>							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	218	平成23年度	198	平成24年度	212		
平成25年度	174	平成26年度	030-1	平成27年度	29		
平成28年度	38						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.関東地方整備局			B.東日本高速道路(株)関東支社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	282,306		工事の委託	17,400
計		282,306	計		17,400
C.個人(イ)			D.(公財)東京都スポーツ文化事業団		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	用地補償	2,151		埋蔵文化財調査	701
計		2,151	計		701
E.山梨県			F.本省等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	工事の委託	755		調査検討業務	3,500
	埋蔵文化財調査	3			
計		758	計		3,500
G.(株)長大東関東支店			H.(一財)国土技術研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査検討業務	198		調査検討業務	253
計		198	計		253

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

※B～Eについては、一番支出の多かった整備局に係わるものを代表的に記載

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	282,306		-	-	
2	中部地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	154,119		-	-	
3	九州地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	110,607		-	-	
4	近畿地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	93,842		-	-	
5	中国地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	89,288		-	-	
6	東北地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	67,833		-	-	
7	四国地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	46,990		-	-	
8	北陸地方整備局	-	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得	37,463		-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東日本高速道路(株)関東支社	9010001095716	工事の委託	17,400	随意契約(その他)	-	-	委託契約
2	357号東京港トンネル(その2)工事 大林・鹿島特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	14,712	国庫債務負担行為等	-	-	
3	横浜湘南道路トンネル工事 西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	11,266	国庫債務負担行為等	-	-	
4	東京外環中央JCT北側ランプ改良工事 大林・大本特定建設工事共同企業体	-	道路改良工事	10,908	国庫債務負担行為等	-	-	
5	東京外環中央JCT北側Aランプシールド工事 清水・竹中土木特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	10,800	国庫債務負担行為等	-	-	
6	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所	9011001029597	工事の委託	9,215	随意契約(その他)	-	-	委託契約
7	中日本高速道路(株)東京支社	4180001056169	工事の委託	8,537	随意契約(その他)	-	-	委託契約
8	東京外環中央JCT北側Hランプシールド工事 清水・竹中土木特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	6,912	国庫債務負担行為等	-	-	
9	東京外環中央JCT北側ランプ工事 鹿島・竹中土木特定建設工事共同企業体	-	道路改良工事	6,016	国庫債務負担行為等	-	-	
10	中部横断城山トンネル他工事大成・岩田地崎特定建設工事共同企業体	-	トンネル工事	5,671	国庫債務負担行為等	-	-	

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に係るものを代表的に記載

※B～I及び国庫債務負担行為等による契約先上位10社リストについては、複数契約がある場合は、入札者数、落札率、業務概要は、最も契約額が大きいものを代表的に記載

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人(イ)	-	用地補償	2,151	随意契約 (その他)	-	-	
2	個人(ロ)	-	用地補償	885	随意契約 (その他)	-	-	
3	個人(ハ)	-	用地補償	726	随意契約 (その他)	-	-	
4	個人(ニ)	-	用地補償	422	随意契約 (その他)	-	-	
5	個人(ホ)	-	用地補償	399	随意契約 (その他)	-	-	
6	個人(ヘ)	-	用地補償	376	国庫債務負担 行為等	-	-	
7	個人(ト)	-	用地補償	367	国庫債務負担 行為等	-	-	
8	個人(チ)	-	用地補償	325	随意契約 (その他)	-	-	
9	個人(リ)	-	用地補償	254	随意契約 (その他)	-	-	
10	個人(ヌ)	-	用地補償	245	随意契約 (その他)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公財)東京都スポーツ文化事業団	5011005003759	埋蔵文化財調査	701	随意契約 (その他)	-	-	
2	(公財)かながわ考古学財団	5020005009658	埋蔵文化財調査	432	随意契約 (その他)	-	-	
3	(一財)経済調査会	1010005002667	市場調査	332	一般競争契約 (総合評価)	3	78.8%	
4	(一社)関東地域づくり協会	6030005002470	発注者支援業務	323	随意契約 (企画競争)	1	92.2%	
5	(公財)千葉県教育振興財団	2040005016829	埋蔵文化財調査	252	随意契約 (その他)	-	-	
6	長大・関東地域づくり協会・クリエイティブ設計共同体	-	発注者支援業務	184	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	
7	(一財)長野県文化振興事業団	5100005000195	埋蔵文化財調査	151	随意契約 (その他)	-	-	
8	(一財)国土技術研究センター	4010405000185	調査検討業務	135	随意契約 (企画競争)	2	100%	
9	H28新宿駅南口地区交通結節点整備効果他検討業務 復建エンジニアリング・計量計画研究所設計共同企業体	-	調査検討業務	121	随意契約 (企画競争)	3	99.9%	
10	(一財)道路新産業開発機構	3010005003267	調査検討業務	116	随意契約 (企画競争)	4	100%	

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に係わるものを代表的に記載

※B～I及び国庫債務負担行為等による契約先上位10社リストについては、複数契約がある場合は、入札者数、落札率、業務概要は、最も契約額が大きいものを代表的に記載

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	山梨県	8000020190004	工事の委託	758	随意契約 (その他)	-	-	委託契約
2	日野市	1000020132128	公共施設管理者負担金	518	随意契約 (その他)	-	-	-
3	日野市川辺堀之内 土地区画整理組合	9700150011164	公共施設管理者負担金	220	随意契約 (その他)	-	-	-
4	東京都	8000020130001	用地の事務委託	47	随意契約 (その他)	-	-	委託契約
5	新宿駅東口地区歩 行者環境改善協議 会	-	社会実験	7	随意契約 (その他)	-	-	-
6	信濃町	9000020205834	埋蔵文化財調査	0.8	随意契約 (その他)	-	-	-
7	横浜市	3000020141003	財産使用料	0.1	随意契約 (その他)	-	-	-

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)長大東関東支 店	5010001050435	調査検討業務	198	随意契約 (企画競争)	2	99.7%	-
2	(株)公共計画研究 所	3011001007682	調査検討業務	166	随意契約 (企画競争)	4	100%	-
3	(株)三菱総合研究 所	6010001030403	調査検討業務	146	随意契約 (企画競争)	2	99.9%	-
4	(株)建設技術研究 所東京本社	7010001042703	調査検討業務	134	随意契約 (企画競争)	2	100%	-
5	(株)オリエンタルコ ンサルタンツ茨城事 務所	4011001005165	調査検討業務	86	随意契約 (企画競争)	1	99.8%	-
6	住友電工システムソ リューション(株)	2010001004055	調査検討業務	79	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
7	パシフィックコンサル タンツ(株)茨城事 務所	8013401001509	調査検討業務	68	随意契約 (企画競争)	2	99.9%	-
8	日本工営(株)茨城 営業所	2010001016851	調査検討業務	58	随意契約 (企画競争)	4	99.9%	-
9	日本工営(株)東京 支店	2010001016851	調査検討業務	56	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
10	(株)福山コンサル タント東京支社	5290001016276	調査検討業務	45	随意契約 (企画競争)	4	99.4%	-

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に係わるものを代表的に記載

※B～I及び国庫債務負担行為等による契約先上位10社リストについては、複数契約がある場合は、入札者数、落札率、業務概要は、最も契約額が大きいものを代表的に記載

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)国土技術研究センター	4010405000185	調査検討業務	253	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
2	(一財)計量計画研究所	5011105004806	調査検討業務	221	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
3	(一財)道路新産業開発機構	3010005003267	調査検討業務	97	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
4	国立大学法人広島大学	1240005004054	調査検討業務	61	随意契約 (その他)	-	--	-
5	国立大学法人神戸大学	5140005004060	調査検討業務	51	随意契約 (その他)	-	--	-
6	国立大学法人東京大学生産技術研究所	5010005007398	調査検討業務	50	随意契約 (その他)	-	--	-
7	(一社)システム科学研究所	1130005012828	調査検討業務	43	随意契約 (企画競争)	2	99.1%	-
8	ITSスポットを活用した走行経路確認に関する検討業務共同提案体	-	調査検討業務	40	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
9	ETC2.0車両運行管理支援サービスに関する社会実験支援業務道路新産業開発機構・長大設計共同体	-	調査検討業務	40	随意契約 (企画競争)	2	99.7%	-
10	特殊車両の通行許可に係る適正化検討業務 オリエンタルコンサルタンツ・道路新産業開発機構共同提案体	-	調査検討業務	38	随意契約 (企画競争)	2	99.9%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に係わるものを代表的に記載

※B～I及び国庫債務負担行為等による契約先上位10社リストについては、複数契約がある場合は、入札者数、落札率、業務概要は、最も契約額が大きいものを代表的に記載

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	国道246号渋谷駅西口地下道工事 東急・矢作特定建設工事共同企業体	-	道路改良工事	4,870	一般競争契約 (総合評価)	2	97.4%	-
2	B	西松建設(株) 関東土木支社	8010401021454	道路改良工事	2,080	一般競争契約 (総合評価)	2	94.1%	-
3	B	清水建設(株) 関東支店	1010401013565	トンネル工事	1,090	随意契約 (その他)	-	-	本トンネルでは、当初想定し得なかった可燃性ガス(メタンガス)や、破砕帯による切羽の崩落が高頻度で発生し、ガス換気設備の追加や崩落対策工が必要な状況であった。 NATM工法によるトンネル工事においては、トンネル毎に特有の地山の変位・土圧・湧水等を計測し、トンネル周辺のゆるみや地山状態を把握した上で補助工法や支保工等の対策工を決定するため、施工者固有の一貫した判断に基づく施工が不可欠である。また、可燃性ガスの処理対応にあたっては、施工者固有の一貫した判断に基づく現場保全が必要なため、本工事の施工は今回の施工者に限られる。
4	B	(株)福田組 東京本店	9110001004880	橋梁下部工事	1,000	一般競争契約 (総合評価)	17	91%	-
5	B	(株)ミゾタ	6300001000946	トンネル設備工事	718	一般競争契約 (総合評価)	1	90.4%	-
6	B	(株)ミゾタ	6300001000946	トンネル設備工事	257	一般競争契約 (総合評価)	4	93.4%	-
7	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	140	一般競争契約 (総合評価)	3	74%	-
8	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	123	一般競争契約 (総合評価)	2	74.2%	-
9	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	112	一般競争契約 (総合評価)	1	74%	-
10	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	95	一般競争契約 (総合評価)	2	85%	-
11	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	92	一般競争契約 (総合評価)	3	80.1%	-
12	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	85	一般競争契約 (総合評価)	4	74%	-
13	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	83	一般競争契約 (総合評価)	3	74%	-
14	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	70	一般競争契約 (総合評価)	1	79.9%	-
15	B	関東建設マネジメント(株)	1030001098427	発注者支援業務	13	一般競争契約 (総合評価)	1	97.6%	-
16	B	りんかい日産建設(株) 東京土木支店	3010401031409	橋梁下部工事	483	一般競争契約 (総合評価)	13	90.8%	-
17	B	りんかい日産建設(株) 東京土木支店	3010401031409	橋梁下部工事	238	一般競争契約 (総合評価)	15	91.7%	-
18	B	馬淵建設(株) 東京支店	2020001013765	道路改良工事	241	一般競争契約 (総合評価)	7	89.4%	-
19	B	馬淵建設(株) 東京支店	2020001013765	道路改良工事	224	一般競争契約 (総合評価)	8	89.9%	-
20	B	馬淵建設(株) 東京支店	2020001013765	道路改良工事	217	一般競争契約 (総合評価)	8	90.5%	-
21	B	奈良建設(株)	9020001021167	橋梁下部工事	242	一般競争契約 (総合評価)	7	91.4%	-
22	B	奈良建設(株)	9020001021167	橋梁下部工事	200	一般競争契約 (総合評価)	8	96.1%	-
23	B	奈良建設(株)	9020001021167	橋梁下部工事	187	一般競争契約 (総合評価)	6	91.5%	-
24	B	日本ファブテック(株)	8010401020704	橋梁上部工事	532	一般競争契約 (総合評価)	15	90%	-

※B～E及び国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、一番支出の多かった整備局に係わるものを代表的に記載

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	I.名古屋高速道路公社			J.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		調査検討業務	1			
	計		1	計		0

平成29年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	道路事業 (補助等)			担当部局庁	道路局、都市局			作成責任者		
事業開始年度	昭和27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	環境安全課、街路交通施設課 等			課長 森山 誠二	課長 渡邊 浩司 等	
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路法第50条 道路法第56条 等			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	国土強靱化施策、一億総活躍推進			主要経費	公共事業					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・道路の交通の安全の確保とその円滑化、生活環境の改善を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助国道 (一般国道のうち、政令で指定する区間以外)、都道府県道及び市町村道の新設・改築、修繕等について、地方公共団体に補助を行う。 ・主な事業として、地域高規格道路等の整備等を実施することで、国民の命と暮らしを守る代替性の確保や地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保、また、我が国の成長力を確保する物流ネットワークの整備を実施する地方公共団体に補助を行う。 ・補助率 1/2 等 									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		補正予算	50,360	53,549	59,740	70,595	83,710			
		前年度から繰越し	1,683	25,549	17,009	-	-			
		翌年度へ繰越し	32,211	21,066	38,802	36,736	-			
		予備費等	▲ 21,066	▲ 38,802	▲ 36,736	-	-			
		計	5,510	▲ 431	-	-	-			
	執行額	68,698	60,931	60,931	78,815	107,331	83,710			
	執行率 (%)	68,641	60,906	60,906	78,728	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	100%	100%	100%	-	-			
		132%	77%	103%	-	-	-			
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	道路交通安全対策事業費	4,615	5,284							
	地域連携道路事業費	60,931	71,069							
	道路交通円滑化事業費	5,049	7,357							
	その他	0	0							
	計	70,595	83,710							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	平成32年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする。 (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度 (都市間の最短道路距離を最短所要時間で除した) 60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保 (平成28年度の成果実績については集計中)	成果実績	%	51	53	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	55	
			達成度	%	93	96	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ (平成29年4月)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム) 欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	地域高規格道路等(補助事業)の新規開通延長							km
	当初見込み		km	21	23	11	60	29	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト	-					-	-	-
	計算式	-	-	-	-	-	-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
	施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する							
	測定指標	定量的指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 32年度	
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合) (平成28年度の成果実績については集計中)	実績値	%	51	53	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	55
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>・補助国道(一般国道のうち、政令で指定する区間以外)、都道府県道及び市町村道の新設・改築、修繕等について、地方公共団体等に補助を行う。</p> <p>・主な事業として、地域高規格道路等の整備等を実施することで、国民の命と暮らしを守る代替性の確保や地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保、また、我が国の成長力を確保する物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備を実施する地方公共団体等に補助を行う。</p> <p>・活動実績として、平成28年度の新規開通延長は16kmとなっており、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与。</p>								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
		成果実績	%	-	-	-	-	-	
目標値		%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
	成果実績	%	-	-	-	-	-		
	目標値	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
必要投入の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	道路の交通の安全の確保とその円滑化、生活環境の改善に寄与。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	道路の交通の安全の確保とその円滑化、生活環境の改善のため、地方自治体等の事業に対して、国が補助することが
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	道路の交通の安全の確保とその円滑化、生活環境の改善のため、優先度の高い事業。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	負担関係は法令に基づいており、妥当。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
事業の有効性	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係機関や地元との調整に時間を要した事などによる。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	地方公共団体からの要望を精査し予算配分を実施。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	地域間連携を促すネットワークの形成を図るため地域高規格道路に重点化。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	国が支援する必要がある地域高規格道路(補助事業)として重点的に整備。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	地域間連携を促すネットワークの形成を図るため地域高規格道路に重点化。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果		・平成22年度には国土交通省において地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が生かせる総合的な交付金として社会資本整備総合交付金を創設したところである。 ・道路事業についても、社会資本整備総合交付金に統合することにより、地方公共団体にとっての予算の使い勝手の向上(予算執行の効率化)を図ったところであり、地方の事業に対して国が施策支援を行う必要性を踏まえ、補助事業として真に支援が必要である大規模事業の地域高規格道路等に重点化して、補助事業を実施している。
	改善の方向性		事業推進にあたり、技術面での確認等を行い、効果的・効率的な事業の実施を図る。
外部有識者の所見			
地方公共団体への補助事業を推進するにあたり、地方公共団体からの報告書をベースとし、創意工夫の程度を評価出来るようなアウトカム指標があるとなお良いと思われる。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の改善内容	地域の基幹ネットワークとなる地域高規格道路等の効率的な事業促進に引き続き努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	地方公共団体からの提案等をふまえ、地域高規格道路等の効率的な事業促進に努めるとともに、適切なアウトカム指標について引き続き検討して参る。		
備考			
・社会資本整備事業特別会計の廃止による予算計上の変更に伴い、平成26年度以降の予算については、北海道、沖縄の事業を含まない。 ・道路事業(補助等)の個別事業については、事業毎に、事業の効率性及び透明性を評価し、第三者委員会等の意見を聴取するとともに、結果を公表している。 詳細については、下記URLを参照されたい。 「個別道路事業の評価」: http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/ir-hyouka.html また、レビューシートの作成にあたっては、事業概要をより詳しく記載するなど、国民へのわかりやすさに配慮。			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	220	平成23年度	200	平成24年度	214	
平成25年度	178	平成26年度	172	平成27年度	0176-01	
平成28年度	0189					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※交付決定ベースにて作成

国土交通省
76,764百万円

補助国道、都道府県道及び市町村道の
新設・改築、修繕等について、地方公共
団体に補助を行う。

【補助金等交付】

A.地方公共団体(168団体)
76,764百万円

工事及び工事に係る調査・設計・用地取得等を
実施する地方公共団体に対する補助を実施

<横浜市の例>

工事費及び工事に係る調査・設計・用地取得費等

本工事費	11,258百万円
測量設計費	187百万円
附帯工事費	55百万円
委託費	20百万円
用地費及補償費	18百万円

11,538百万円

<交付決定ベース>

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.横浜市			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
本工事費		11,258			
測量設計費		187			
附帯工事費		55			
委託費		20			
用地費及補償費		18			
計		11,538	計		0
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	横浜市	3000020141003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	11,538	補助金等交付	-	-	
2	長崎県	4000020420000	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	5,693	補助金等交付	-	-	
3	鹿児島県	8000020460001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	4,942	補助金等交付	-	-	
4	大分県	1000020440001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	4,219	補助金等交付	-	-	
5	兵庫県	8000020280003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,936	補助金等交付	-	-	
6	佐賀県	1000020410004	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,924	補助金等交付	-	-	
7	栃木県	5000020090000	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,675	補助金等交付	-	-	
8	鳥取県	7000020310000	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,538	補助金等交付	-	-	
9	熊本県	7000020430005	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,463	補助金等交付	-	-	
10	青森県	2000020020001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	2,272	補助金等交付	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	横浜市	3000020141003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	3,791		-	-	
2	A	佐賀県	1000020410004	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	550		-	-	
3	A	大分県	1000020440001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	467		-	-	
4	A	兵庫県	8000020280003	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	330		-	-	
5	A	三重県	5000020240001	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	220		-	-	
6	A	錦町	4000020435015	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	200		-	-	
7	A	奈良県	1000020290009	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	94		-	-	
8	A	塩竈市	9000020042030	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	71		-	-	
9	A	都城市	6000020452025	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	55		-	-	
10	A	富山市	9000020162019	工事の実施及び工事に係る調査・設計・用地取得等	50		-	-	

平成29年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	有料道路事業等			担当部局庁	道路局		作成責任者			
事業開始年度	昭和43年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高速道路課 等		課長 伊勢田 敏 等			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法第6条第3項、第12条第1項第4号、道路整備特別措置法第20条 等			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	国土強靱化施策、一億総活躍推進			主要経費	公共事業					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高速道路会社による高速道路の新設・改築の効率的な実施及び地方道路公社による地方的な幹線道路の整備を促進し、道路交通の円滑化を図ること等を目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路(株)及び阪神高速道路(株)が行う新設・改築に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する出資 ・東日本高速道路(株)等が施行するスマートインターチェンジ整備事業に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する補助 ・地方道路公社が施行する有料道路事業に要する資金の一部貸付け 等 									
実施方法	補助、貸付、その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		補正予算	-	-	34,195	-	-			
		前年度から繰越し	356	125	1,276	31,877	-			
		翌年度へ繰越し	▲ 125	▲ 1,276	▲ 31,877	-	-			
		予備費等	▲ 300	-	-	-	-			
		計	21,372	21,311	28,834	52,585	14,722			
	執行額	21,072	20,997	28,057						
	執行率 (%)	99%	99%	97%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	98%	93%	47%							
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	地域連携道路事業費	15,973	10,572							
	道路交通円滑化事業費	4,435	3,850							
	道路交通安全対策事業費	300	300							
	その他	0	0							
	計	20,708	14,722							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
							- 年度	32 年度		
	平成32年度までに道路による都市間速達性の確保率※を約55%とする (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合)	道路による都市間速達性の確保率 (平成28年度の成果実績については集計中)	成果実績	%	51	53	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	55	
		達成度	%	93	96	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省道路局調べ(平成29年4月)									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック			

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
高速道路会社6社及び指定都市高速道路公社の開通延長	活動実績	km		192	93	61	-	-	
	当初見込み	km		252	117	66	76	102	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト	/					-	-	-
	計算式	/		-	-	-	-	-	
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
	施策	22 国際競争力・地域の自立等を強化する道路ネットワークを形成する							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
		道路による都市間速達性の確保率※ (※主要都市等を結ぶ都市間リンクのうち都市間連絡速度(都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの)60km/hが確保されている割合) (平成28年度の実績については集計中)						-	年度
				実績値	%	51	53	-	-
	目標値	%	-	-	-	-	55		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路(株)及び阪神高速道路(株)が行う新設・改築に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する出資 ・東日本高速道路(株)等が施行するスマートインターチェンジ整備事業に要する資金の一部を貸付ける独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する補助 ・地方道路公社が施行する有料道路事業に要する資金の一部貸付け 等 ・活動実績として、平成28年度の新規開通延長は61kmとなっており、測定指標である「道路による都市間速達性の確保率」の向上に寄与。 								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
		-	年度		-			年度	
		成果実績	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				-			年度	-	年度
			成果実績	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与する事業であり、国による支援は必要。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	高速道路における道路交通の円滑化に寄与する事業であり、必要性及び優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	高速道路保有・債務返済機構法、道路整備特別措置法に基づき適切に支出。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	高速道路保有・債務返済機構法、道路整備特別措置法に基づく支出であり、負担関係は妥当。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、事業の効率性や透明性等を評価。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて、高速道路保有・債務返済機構に適切に配分。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	熊本地震の災害復旧工事の実施にあたり、高速道路会社と地元自治体や関係機関との調整等により時間を要し、工事工程を見直したため。		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、コスト削減の取組等についても評価。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に向けて成果実績は着実に向上。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	個別の新設・改築事業の実施にあたり、高速道路会社等は事業評価を実施し、第三者委員会等で意見を聴取しながら、事業の効率性や透明性等を評価。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された高速道路は、事業の目的に合った機能を発揮。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
				-
				-
				-
点検・改善結果	点検結果	有料道路事業による高速道路整備は着実に進んでいる。		
	改善の方向性	高速道路の整備にあたっては、建設コストの縮減を含め、効果的・効率性な実施に一層努める。		

外部有識者の所見

アウトカム指標「高速道路会社6社及び指定都市高速道路公社の開通延長」については、なぜ活動実績が当初見込みよりも少なくなったのか、種々の理由があるが、主なものを記載・説明できたほうがよいと思われる。

行政事業レビュー推進チームの所見

一 事業
部 の
改 内
善 容

高速道路の効果的・効率的な整備、既存ストックの活用に一層取り組むべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執
行
等
改
善

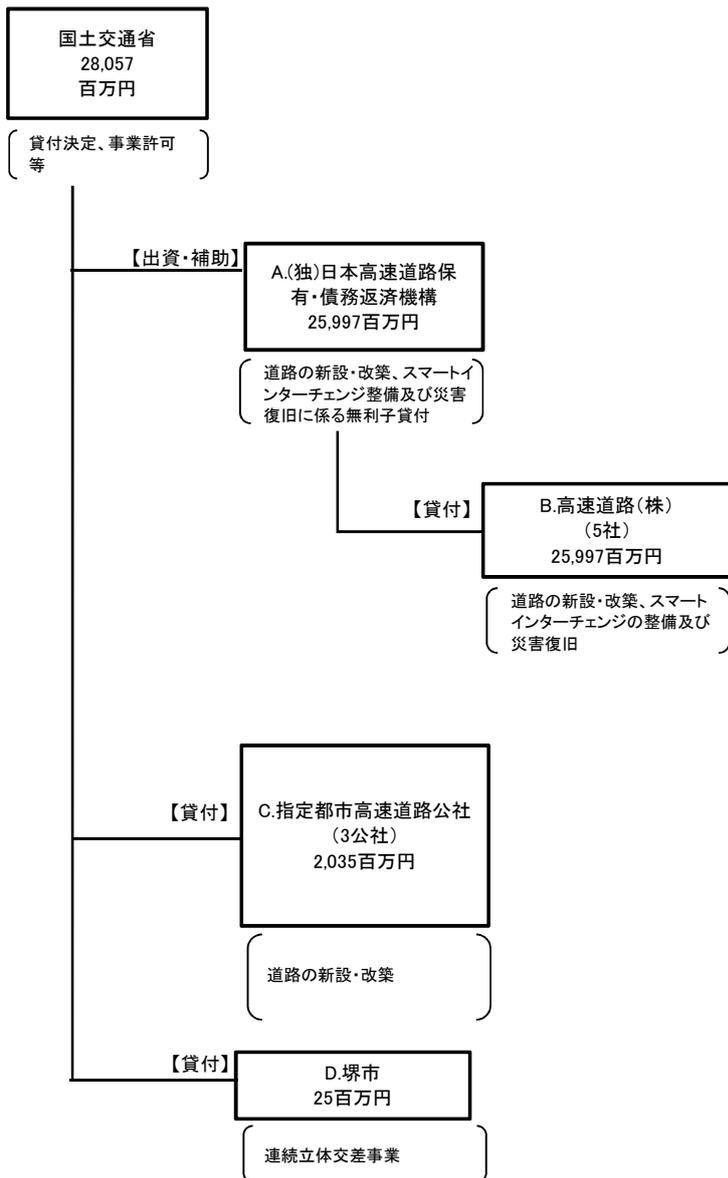
「高速道路会社6社及び指定都市高速道路公社の開通延長」について、活動実績が当初見込みより少なくなった理由として、用地取得に想定以上の時間を要したことや地盤等の現地条件により工事の進捗に遅れが生じたこと等が挙げられる。事業主体からH30年度の事業内容を聴取し、所要額の精査を行った上で要求。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	221	平成23年度	201	平成24年度	215	
平成25年度	255	平成26年度	030-3	平成27年度	0176-2	
平成28年度	206					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(独)日本高速道路保有・債務返済機構			B.首都高速道路(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		道路の新設・改築、スマートインターチェンジ の整備、災害復旧に係る無利子貸付	25,997		道路の新設・改築	17,609
	計	25,997	計		17,609	
	C.広島高速道路公社			D.堺市		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		道路の新設・改築	1,365		連続立体交差事業	25
	計	1,365	計		25	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

